

# 白神トピックス

## 収穫・出荷の最盛期を前に目揃会を開催

ねぎ部会

ねぎ部会（大塚和浩部会長）は10月18日、秋冬ねぎの収穫と出荷を目前に控え、出荷規格等を確認する目揃会を開きました。

生産者やJA、市場関係者など約40人が参加し、はじめに大塚部会長が「今年は天候に悩まされた年だったが、10月になり天候にも恵まれ、ようやくねぎも太りだしてきた。これから秋冬ねぎの収穫のピークを迎えるが、この目揃会で規格等を学び、高品質なねぎを提供していこう」とあいさつ。その後、各市場からの情勢報告や生育状況、病害虫防除について説明され、生産者らは出荷最盛期を前に、適切な出荷規格維持と意識統一を図りました。



▲出荷規格の確認を行う生産者



▲行列ができた白神ねぎ千本焼き

## 特産の白神ねぎを提供

営農企画課

能代市が主催する産業フェアが10月13日、14日に能代市総合体育館で開かれ、市内の多様な産業が事業の紹介や製品の展示・販売を行い、能代市の産業を来場者にPRしました。

当JAも参加し、今年で4回目となる白神ねぎの千本焼きを行い、来場者に振る舞いました。千本焼きは、圃場から収穫したネギを土の付いたまま炭火で焼き、焼き色がついたら葉をむいて食べるという豪快な食べ方が魅力。2日間とも天候に恵まれ、千本焼きのテント前には行列ができました。試食した来場者からは「こんな食べ方は初めて」、「甘くておいしい」といった感想が聞かれました。

## 防災への意識を高める

ニツ井給油所

ニツ井給油所で10月18日、火災を想定した消防訓練が行われました。給油所職員ら7人が参加し、消火器具の取り扱いなどを学び、初期消火の手順を確認しました。

訓練は、職員の休憩室から出火した想定で行われ、通報連絡係、避難誘導係、消火係とそれぞれの職員が役割を果たしていました。また、水消火器を使った消火訓練では、火点から3mの距離をとることや広範囲に薬剤を放射するといったポイントを消防署職員から学びました。加藤給油所長は「今回の訓練を通して、緊急時に迅速に対応できるよう防災への意識を高めることができた」と話しました。



▲消火器の使用方法を学ぶ職員



▲32ホールの熱戦が繰り広げられました

## はつらつとしたプレーでグラウンドゴルフを楽しむ

JAバンクあきた

JAバンクあきたが主催する第6回グラウンドゴルフ大会が、10月18日に潟上市グラウンドゴルフ場で開かれました。

当JAからは、7月に大潟村で行われたグラウンドゴルフ大会の上位10名が参加し、県内各地区の年金友の会会員総勢185人のもと、元気にグラウンドゴルフを楽しみました。この日は見事な秋晴れとなり、参加者は熱戦を繰り広げ長短さまざまなコースで次々とナイスショットを披露しました。大会では、のしろ北地区の大高甚四郎さんが7位入賞を果たしました。参加者はスポーツの秋、グラウンドゴルフを通じて親睦を深めました。